

2011年度

科目名	児童文学論A			
担当教員	森崎 光子			
配当	日文1		コード	42009
開期	前期	講時	木曜日2限	単位数 2
授業テーマ	宮沢賢治の文学 1			
目的と概要	宮沢賢治の童話は、児童文学のなかで不朽の名作として高い評価を受けている。子どもから大人まで幅広い読者に愛され、支持されている。賢治の童話が魅力的でとつきやすいからであるが、しかし、実は奥が深く、様々な読みを許容する作品でもある。 この授業では、まず賢治の生涯を概観し、次に代表作「銀河鉄道の夜」を中心に作品を読んでいきたい。賢治童話の魅力とその奥行きに、いささかなりとも接してもらいたい。			
成績評価法	レポート2本(80%)＋授業時の課題(20%)			
テキスト	宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』(新潮文庫)			
参考書				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	作品の内容分析に入る前に、作品を読んでおくこと			
講義計画				
第1回	授業の内容・進め方の説明、受講にあたっての注意			
第2回	宮沢賢治の生涯 (1) 生い立ち			
第3回	宮沢賢治の生涯 (2) 父との葛藤			
第4回	宮沢賢治の生涯 (3) 宗教と文学			
第5回	宮沢賢治の生涯 (4) 晩年			
第6回	「よだかの星」 (1) 内容分析			
第7回	「よだかの星」 (2) 内容分析・主題			
第8回	レポートの書き方			
第9回	「銀河鉄道の夜」 (1) 内容分析			
第10回	「銀河鉄道の夜」 (2) 内容分析			
第11回	「銀河鉄道の夜」 (3) 内容分析			
第12回	「銀河鉄道の夜」 (4) 内容分析			
第13回	「銀河鉄道の夜」 (5) 内容分析			
第14回	「銀河鉄道の夜」 (6) 内容分析・主題			
第15回	まとめ			